

国立大学法人東京大学
株式会社三井住友フィナンシャルグループ

東京大学と三井住友フィナンシャルグループとの社会的価値創造に向けた協定締結について

国立大学法人東京大学（総長：藤井 輝夫、以下「東京大学」）と株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）は、東京大学の持つ多様なアセットを価値化する仕組みの構築とその価値の社会への還元、及びそれを通じた「日本の再成長」をリードし先鞭をつける動きへの取組を目的として、連携協定（以下「本協定」）を締結いたしました。

1. 背景

近年、環境問題や人権、貧困・格差等の社会課題が顕在化し、拡大、深刻化しており、文理の垣根を超えて大学の持つ多様な知を社会に開放、還元していくことが益々求められています。また、こうした社会課題の解決に向けた取組は企業経営にとっても大きなテーマとなっており、足許では、社会的価値の創造が企業にとっての競争の前提になってきています。

こうした中、東京大学は、2021年に公表した基本方針「UTokyo Compass」のもと、研究・教育や社会協創による地球と人類社会の未来に貢献する価値創造に取り組んでおります。また、SMBC グループは、現中期経営計画「Plan for Fulfilled Growth」において、社会的価値の創造を経営の柱の一つに据え、社会課題の解決に世の中の資金が向かう流れづくり等、社会課題の解決に取り組んでおります。

2. 本協定に基づく取組

東京大学と SMBC グループは、本協定に基づき、以下のテーマについて共同して取り組んでまいります。本協定は、民間企業が資金を拠出し、大学が知を提供するといった従来の産学連携ではなく、社会的価値創造に向けて、資金や人的リソースの拠出に互いがコミットし、ともに開かれた知の実現を目指すものです。森林 GX プロジェクト（下記 3.）を中心に SMBC グループから 3 年間で 30 億円以上の資金拠出を行うとともに東京大学でも応分の拠出を行う予定です。

（※各項目の最後の括弧内に、活用するアセットや社会還元するアセットの例を記載）

(1) 新たなグリーントランスフォーメーション（以下「GX」）戦略の策定と実践

東京大学は、今月設立されたグリーントランスフォーメーション戦略推進センター（※1）を中心に、大学内の先進的且つ多様な研究者の知を分野横断的に統合し、新しい GX 戦略を提案していきます。また、SMBC グループとともに、森林 GX プロジェクトを開始し、森林の価値を高め、森林システムを包括的に活用する取り組みを進めてまいります。

（GX に関わる多様な研究者の知見、演習林）

(2) フィランソロピー資金紹介スキームの構築

SMBC グループは、フィランソロピーアドバイザリーサービスを立ち上げ（※2）、お客さまの社会課題の解決や社会貢献に資する寄付活動をサポートしております。寄付の対象となる東京大学の様々な取組の価値を明確化するとともに、今回、大学向けの

フィランソロピー資金紹介スキームを構築し、富裕層等の資金が大学を通じて社会課題解決へと繋がる取組を加速します。

(寄付対象となる大学の持つ価値)

(3) スタートアップ企業の発掘と育成、支援

SMBC グループ傘下の株式会社三井住友銀行(頭取 CEO:福留 朗裕、以下「三井住友銀行」)は、全国で横断的に大学発スタートアップの創出・育成とそれを支える人材や資金が循環するエコシステムを形成するための活動(※3)を支援しております。東京大学は、本邦大学で最も多くのスタートアップを創出している大学であり、連携を強化することで、これらの取組を加速してまいります。

(スタートアップや学内のアントレプレナー)

(4) 仕事・学業とスポーツの両立を実現する科学的アプローチ

三井住友銀行は、女子バスケットボール部における W リーグへの参戦(※4)や、大学運動部・体育会の活動を支援する「大学スポーツ応援プログラム」(※5)を通じて、仕事・学業とスポーツの両立に取り組んでおります。今般、東京大学スポーツ先端科学連携研究機構(UTSSI)と連携し、これらの両立を実現するための最適な練習の方法やスポーツの持つ多面的な価値の可視化に取り組みます。

(スポーツに関わる多様な研究者の知見、蓄積された研究成果やデータ)

(5) 学生活動支援及び企業で活躍できる人材を育てるインターンシップ等の仕組みの検討

東京大学は、フィールドスタディ型政策協働プログラム(※6)として、学生が各地域の課題の解決に向けて活動し、提案する取組を行っております。今般、三井住友銀行が、当該プログラムを受け入れる自治体のマッチング等を支援し、政策を立案・実行できるリーダー人材の育成に取り組みます。また、博士課程の大学院生が将来企業で活躍できるスキルの習得や人材交流等にも取り組んでまいります。

(政策協働プログラムに参加する学生)

3. 森林 GX プロジェクトの発足

本協定に基づく取組の第一弾として、東京大学と SMBC グループは、東京大学の演習林等を実証フィールドとし、森林の持つ価値の高度化を实践するために「森林 GX プロジェクト」(以下「本プロジェクト」)を発足させます。

日本は、国土の 65%を森林が占める世界有数の森林大国であり、東京大学も国土の 1/1000 となる演習林を有しております。本プロジェクトでは、日本及び東京大学が有する森林の大きなポテンシャルを最大限活用できるよう、森林システムの上流・中流・下流を包摂したイノベーションの実現を目指します。具体的な取組例として、(1) リモートセンシングや AI を活用したデータ駆動型の育林デジタルトランスフォーメーションにより、森林の CO2 吸収量や生物多様性を高精度に把握するデジタルツインの構築、(2) バイオマス資源から木造高層ビルの建材、バイオマスプラスチック、生分解性プラスチック、木質系新素材やバイオエネルギーの開発を通じて、環境共生型バイオマス都市の実現とともに、都市におけるバイオマス利用に関する認証制度の確立を目指します。

※1 グリーントランスフォーメーション (GX) 戦略推進センター

GX 戦略推進センターは、カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ及びサーキュラーエコノミーを基盤に、東京大学の GX 推進において中心的な役割を果たし、持続可能な未来社会の

モデルを提示するため、2025 年 4 月 1 日に設置された全学組織

※2 フィランソロピーアドバイザーサービス

三井住友フィナンシャルグループの 2024 年 11 月 5 日付プレスリリース
「フィランソロピーアドバイザーサービスの立ち上げについて」 ご参照
(https://www.smbc.co.jp/news/pdf/j20241105_01.pdf)

※3 大学発スタートアップの創出・育成とそれを支えるエコシステムを形成するための活動

三井住友銀行の 2024 年 11 月 7 日付プレスリリース
「産官学連携によって社会課題解決に向けたイノベーション創出を目指す WE AT に参画」 ご参照
(https://www.smbc.co.jp/news/pdf/j20241107_02.pdf)
三井住友銀行の 2025 年 1 月 28 日付プレスリリース
「大学発新産業創出基金事業 スタートアップ・エコシステム共創プログラム全国ネットワーク
構築支援を開始」 ご参照 (https://www.smbc.co.jp/news/pdf/j20250128_01.pdf)

※4 Wリーグへの参戦

三井住友銀行の 2024 年 4 月 23 日付プレスリリース「女子バスケットボール部 W リーグ加入に
関するお知らせ」 ご参照 (https://www.smbc.co.jp/news/pdf/j20240423_01.pdf)

※5 大学スポーツ応援プログラム

三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行の 2024 年 5 月 8 日付プレスリリース
「『大学スポーツ応援プログラム』の開始について」 ご参照
(https://www.smfg.co.jp/news/pdf/j20240508_01.pdf)

※6 フィールドスタディ型政策協働プログラム (FS)

東京大学ホームページ「フィールドスタディ型政策協働プログラム (FS)」 ご参照
(<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/h002.html>)

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

国立大学法人東京大学 産学協創部

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-11-16

e-mail : kyoso-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp